

中学校の国語科の先生方へ



今年の高校入試を分析したら、こんなことがわかりました！

合格者の国語の平均点は、62.7点

☆正答率が高かった問題は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」です。特に「漢字の読み書き」「文語のきまり」「語句の文脈上の意味」の問題では、基礎的・基本的な言語事項の定着が図られています！



正答率^(※)の低かった問題を見てみましょう！

<文学的文章>では…

- 登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てる問題が、50.6%
- 文章の構成や展開、表現の仕方について評価する問題が、50.2%
→ 登場人物の設定の仕方をとらえる力や、表現の効果を評価する力が不足

登場人物の心情の変化を読み取るだけでなく、登場人物の特徴（人物像）を想像したり、物語を語る人物（語り手）に注目して読んだりする活動を取り入れましょう！

<説明的文章>では…

- 段落全体の文章構造を踏まえて、指示語の指示内容をとらえる問題が、29.8%
- 文章を読んで、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする問題が、56.2%
→ 段落の構造をとらえる力や、文章を読んで自分の考えを再構築する力が不足

段落ごとの文章内容を把握するだけでなく、段落全体の文章構造を読み取ったり、筆者のものの見方や考え方について話し合ったりする活動を取り入れましょう！

<言語活動>では…

- 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して文章をまとめる問題が、61.0%
- 考えが効果的に伝わるように、説明や具体例を加えてまとめる問題が、49.7%
→ 資料を適切に引用する力や、効果的な具体例を加えてまとめる力が不足

単に自分の意見や考えをまとめさせるだけでなく、課題解決のプロセスの中で、適切な資料や文献を活用して、説得力のある文章を書かせる活動を取り入れましょう！

<古典>では…

- 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、その思いを想像する力が、34.3%
- 歴史的背景などを踏まえつつ、古典の世界に親しむ力が、43.4%
→ 作者の思いを想像する力や、古典の世界に親しむ態度が不足

古典を読むための知識や技能を定着させるだけでなく、古典の現代語訳や関連する文章、映像メディア等を用いて親しみを持たせるような工夫をしましょう！



「分かる！・できる！」まで教えよう！（授業改善のkeyword）
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！

(※)正答率については、合格者5,010人の中から、無作為に抽出した650人(13.0%)分のデータです。

小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題のねらい	出題形式			評価の観点				正答率	
				選択	短答	記述	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解		
二	一	文学的文章	文脈に即して漢字を正しく読み書きすることができる。		○					●	①99.7 ②98.0 ③97.2	
	二		文脈の中における語句の意味を的確にとらえ理解することができる。	○					●	●	89.7	
	三		登場人物の心情に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。	○						●		71.5
	四		登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てることができる。	○						●		50.6
	五		登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立てることができる。			○				●		A47.3 B56.8
	六		文章の構成や展開、表現の仕方について評価することができる。	○						●		50.2
三	一	説明的文章	文脈に即して漢字を正しく読み書きすることができる。		○					●	①97.7 ②75.8 ③76.2	
	二		文脈の中における語句の意味を的確にとらえ理解することができる。	○					●		29.8	
	三		文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要旨をとらえることができる。			○				●		81.8
	四		文章の構成や展開について、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。			○				●		71.1
	五		文章の構成や展開、表現の仕方について評価することができる。	○						●		58.0
	六		目的に応じて文章を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすることができる。	○						●		56.2
三	一	言語活動	相手や場に応じた言葉遣いについて知識を生かして話すことができる。		○		●			●	94.5	
	二		必要に応じて質問しながら聞き取り、整理することができる。	○			●				72.6	
	三		社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。	○				●				84.5
	四		論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くことができる。			○		●				61.0
	五		事柄や意見が相手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えて書くことができる。			○		●				49.7
	六		字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くことができる。	○						●		90.7
四	一	古典	古典には様々な種類の作品があることを理解することができる。	○						●	68.6	
	二		訓読の仕方を知り、古典の世界に触れることができる。		○					●	80.7	
	三		古典に表れたものの見方や考え方に触れ、作者の思いなどを想像することができる。	○						●	34.3	
	四		文語のきまりを知り、古典の世界に触れることができる。		○					●	66.2	
	五		古典に表れたものの見方や考え方に触れ、作者の思いなどを想像することができる。	○						●	50.9	
	六		歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむことができる。		○					●	43.4	